



「着た方が快適な」優れた放熱機能を売りにする

- ・暑熱対策のブランド
- ・鉱石の力で体熱を放出
- ・独自技術強みに拡販

東光商事は自社開発の機能素材を活用し、暑熱対策ウェアのブランド「シルデ」を立ち上げた。鉱石の高い放熱効果を生かし、肌の熱を素早く逃がし、冷却効果が持続する。

自社技術でテラヘルツ鉱石を使った「テラックス・クール」と水晶を使った「ネオ・コールド」パウダーをブレンドし、ドット状プリントで生地が付与。体熱を遠赤外線に変換して衣服外に放出し、抗菌防臭機能や生地に紫外線カット性も持たせた。

サーモカメラを使ったテストで人の肌が33.3度の場合、通常のTシャツを着用すると30.6度と衣服内に熱がこもるのに対し、シルデは32.2度と肌温をそのまま外部に放熱した。

2月に「マクアケ」でインナーの販売を開始したところ、2日間で目標を大幅に上回る100万円以上を集めた。ライフスタイルライン（インナー）とスポーツラインの2本柱で5月から一般販売を開始。半袖・長袖シャツやブラトップ、フェイスカバー付きシャツ、レギンスなど展開する。シャツが4000円弱など値頃感も追求した。自社ECのほか、期間限定店、卸でも販売。今後、さらに販路を広げていきたい考え。